## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	市民的社会と国家:マルクスに於ける国家の本質
Sub Title	
Author	加田, 哲二
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1929
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.23, No.11 (1929. 11) ,p.1549(1)- 1602(54)
JaLC DOI	10.14991/001.19291101-0001
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19291101-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

二田學會雜誌 第二十三卷 第十

# 民 的 祉 會

71 0

加 田

力がその 刎 思想

の御用は **7**2

定指院病學大塾義應慶

店鏡眼堂鳳

票 停 電 町 木 材 布 麻 番①七四七山青話電

と は、彼 Ø Ξ 中 0 で 12 瓜 あ **3** 想 n b 近 τ ねる 獨 巡 17 てでは、周 配 史的發展を迹る 會 泒 想 12 0 છ の Щ の 3 發 ۲ 質であらう。 淵 さっとれらの \* τ *)*) v ント **〉**のである。 と す 特徴が、い れば 今、カント ٦, ح n & らの 鮮 かいて 三つ からへエゲ 古典 Ø 将

す 次の 章を 明を に結 見 人 通 敍 解 主 常 到 用 逃す 義的 付 は 力 す 皮 0 る る 想 ح っ 0 的 だと見 ч 刑 ح ح **遍主義** する は る。「人 本 目 體 す 主 稿 的 **5** 17 る る 7 於 ど 0 ч L 間(地 目 ル 意 0 1 τ ス・ア がな 3 で **>** 的 で 圣 る Ŀ. は る 31 は な 则 v n ਣ 於け 世 自 な ラ τ 然 15 で M 7 ねる(誰一)。 ч. 被造 素質 る唯 公民 ので、こ し はない。 看做され てゐる(誰二)。 ح 物 は、唯 <u>ー</u> 的 の見解 見 Įζ 0 ح ኔ 地 乍 力 どを證 族 を全 性 b 17 ~ 併カント って 的 る 於 17 ŀ **今.** こ ゝ 然誤 理! 被 ける ਣ \$ z 性 造 明 V 0 ጀ ч. す 17 祉 般 は 0 8 21 ح み、完 歷 彼 す 7 τ 0 て斥 史 力 Z る 21 あ 全 のぞ 考の ~ 認 £. B 17 けて、カ V 論的 ゆ 簽 於 中 0 0 ч 0 展 で 說 T 文 如 ક

ح 關 17 0 8 z す ね 利 ح ζ **ታ**ን る。 は 0 用 9 ず な 結 す 狀 12 CK る 向 0 τ 3 9 で ح は 15 V あ 沚 则 B は、こ Υ 3 B ۲, で p's 沚 合 る 0 限 的 V 意 ある。」、誰 τ, る 併 祉; 合 圖 引用 Ø 交 法 して 17 な ۲, 性 的 を、自 5 於 ٧, である。 文 さ 云 0 秩 で (誰) 三「自 性 あ 序 9 3 ዹ Ŋ 本能 向 る 0 ح ~ す 原 n \_\_\_ 斯 15 8 たる 9 は 囚 Ł 祉 かい 超 0 ح 0) であ なる 素 如 會 す Ž, 朴 4 を常 圣 る 質 r 0 向 る。 な意 感 B 圣 Ŋj 0 J. 質 71 5 0 C b 味 る 分 C は Z 10 9 か 明ら 17 ち n あ  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 關 素 ら、即ち る。 Ł 質 遞 3 は ける る。 か す さう 0 で 71 3 個 彼 る 展 人 ح は 間 と 0 5 力 人 3 主 尤も 自 0 な み 7 C 本 す 込 で n あ 性 る ば ¥ 敵 的 5 す 2 被 抵 る 7 0 h 對 뭶 敵 想 0 は 中 抗 ح

- Jacob Baxa, Gesellschaftslehre von Platon bis Friedrich Nietzsche 1927. S. 37.
- ---を 見 der Marxismus. 1925. Das Soziologische in Kants Erkenntniskritik そ 0 他
- Ξ einer allgemeinen Geschichte in Weltbürgerlicher Absicht (1784). Sämtliche Werke. Vorlan-

第二十三卷 (一五五一) 市民的社會で國家

ders Ausgabe. VI. Bd. 0 木 頁。 村 素術 謬 'n ン 著 作 ധ 第十三 卷(岩波版)七一 八 Ę

7 的 0 は最 ٦. ١٠  $\tau$ 向 ح જ は ラ そ 圣 9 人主 τ 7. ઇ ح ح 9 ح C C 8 7 V 71 5 U 7  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ は、そ 0 3 逼主 る の 社: る合註 合 17 办 な 論及 で 人 想 あ 主 ı, 的 Υ. 方 置 的 ilii V 傾 0 \* 72 向 能 か 0 Ji. ら、普 表 生命體 者 ~ で 浪漫 遍主 B あ

社 五 拥著近世社會成立史。

Ł の 0 發 展 9 现 С 0 m 念 は、 τ る \$ 同 浟 2 生 に、獨 0 15 現 જ 邈 £ 證 īļi 法 は け n 獨 训 る 17 邈 哲 7 完 Z. **b**. 3  $\tau$ 0 想 17 展 £ 17 H る す 尊 る  $\mathcal{C}$ 產 は 3 ح 方 力 ン ŀ て、そ 並に 彼 n 以 7 以 削

過ぎな るか、フ 9 丽 なる 7 る して、社 ねる る。 4 T 祉 運 V す 0 會 會 で 的 Т. ዸ 矛 設 8 71 せ n ч Ł は 念 間 6 す t る 的 る る n 71 る 間 0 區 ば、理 1 7 17 0 别 至 n ح r ば 8 هبت る 行 到 祉 0 9 過 す 間 で 12 É 的 あ 0 4 る \_° 狐 15 0 は で 立 M 恐 す 9 自 は 的 ح 6 Ħ. τ b な 0 國 0 驗 で V 7 否 あ 的 定 は は、彼 5 國 17 は る Ł 從 遂 15 家 Įζ 到 は 9 は 家 r 7 死 蓬 2 n 完  $\mathcal{C}$ づ 8 滅 **j** 全 す ~ なる 71 6 は ਣ 4 ~ 祉 J n 4 迎 單 9 た一種であ る 人 會內 ふの るで て、一の完 迎 命 間 71 手 に生存 命 を では C ž あ 71 あ 9 17 な 3

七 近世社會學成立史二一九頁以下。

胜

5 0 熟に 第二十三条 る 15 £. T. S て、フ グ 二五五三 IV 17 Ŀ テ 市民的社會を國家 8  $\boldsymbol{\mathcal{T}}$ は **J**. 國 家 は IV 祉 8 會即ち は異 n る गाः 立 民 的 場 圣 礼: 會 有 し 71 ۓ T 立す ねる。 3 ર/ 0 0 辯證法 である。

的 見 12 地化 क्त 七ノー 民的 從 社會と國家と ^ 近世社會 ば、家族 は措定で 掛 战 は、その本質を異に 立。火二元 あり、市 八 頁以下。 民 的 祉 會は す る 對 反 Ъ. 措 定であ 的 なる છ り、國家は綜 のである(註七ノー)。 合で

だが で ч 7 ある。 能な Þ は、こ 0 ル・マ 残る 中 ح. 上 0 h N 0 悂 بح そ 向 17 B 9 8 游 見 C 0 哲 0) す す Ø 法 み、ド 3 る 則 ح ح 10 9 مح 7  $\mathcal{C}$ ح であ ッ す 3 0 3 る 領 **3**。 III. 來 る。 物 論 ¥2 的 0 17 思 的 ינל B 自 性 然 VC Ś 0 II! 向 r 親が る C τ. አነ 自 頭 9 0 0 Ġ, X ţ ば で ス 17 CK\* は 地 存 业 哲 0 位 C 粹 b) す 3 る Þ あ 泒 7 貨 T る 8 不 21 0 う誰 殖や、お Ø 逐 る で V る。 飯 3 あ 八。 は 要 9 å. 域だけ る。 A. な T V 7 上 ح 12 0 る С. 哲 જ 3 不 力

る。計 ጀ τ n る 少 n な な 12 な 9 17 12 のだ。 當 す 用 學 で 間 ינע 3 1 0 慮 は 展 B 在 迎 Ø な 向 は 貿 3 9 T 75 0 60 反 F, 4 10 の " 8 て、彼 全 は 古 最 體 典哲 初 Ø *h*; 等 נע 0 學 ح 0 要求 Įζ Įζ 継承者で 喜 b ઇ h で受

III) S. 67 佐 Feucrbach 野文夫譯本一 Ti. der deutschen 一五九頁。 Klassischen Philosophie (Marxistische Bibliothek 8

此 九 Engels, n. a. O. Ss. 68-69 佐野譯本一六二頁。

0 二版 る 工, Ø 0 で 古 はな 文に、私 Ø 哲 學、殊 提言 の辯 また は に、ヘエ 恐ら 證 īE 反 法 的 **(** 方 0 8 N 法 યુ Z. 1 は 0 單 のまっ 7 スもまた承認す に根 ある。「へ 承 本に 認す т, 於 ゲ る V ٠, م ル式 る B ح ح 0 辯 エグ で 證法の は ろ な で **ن** 6 神秘的 のそ は 方 ح 資

(一五五五) 市民的社會主國家

第二十三卷

論中 17 ある **₽** y; る。 値跳 得 颠 は 21 ح lζ る ح ح 8 n 時 9 ₽. 法 取 證 V 17 で 處 z 0 0 法 續 71 7. あ 71 B 防 は 私 扱 は、今 る。八註一一 £ ね げ て、私 9 は V ば 0 る す 12 J. ح \* なら て、 內 る B 軰 距 n 为; 一般 17 0 IV r 3 ر الا x. Ø 合 で 批 ことが 此 思 ゲ 的 到! 手 想家へ 剉 N ح 的 で削 形態を、包 L 71  $\mathbf{V}$ 0 **V** 處 tz Z んぎ三 <u>ာ</u> 9 核 で T, 祕 ч V 心 グ 化 辯 D ч 證法 わ 括 を見出す 3 7 Jν נע + る 關 的に n 3 の n 华 說 は~ 71 72  $\boldsymbol{\mathcal{T}}$ し Д. 8 n あ **Æ**, τ L つ意 12 は 獨 る な 5 グ る  $\mathcal{C}$ め V 特 Ø る ઇ w 5 ^, ک 0 z 8 ı. 叨 71 5 0 的 口 み 見 グ <sub>ያ</sub>ን 於 ਣ 湴 71 の 岉 づ τ N 10 であり、誰一〇份ほ資本 江 表 8 圣 か て、逆立 ち Ł 现 弄 B 質 證 V. L L は h 公 **%** 法 て、そ た最 72 决 だ

が 言 **%**: C 辯 Ĺ U あ て、へ Ø 證法を更ら τ 初 以 る Z, 19 證 る 0 は 女 カ; 據を ٦. る。 壆 兹 H 倘 行 者 ゲ 71 K 15 鼎 我 で IV あ 價 彼 7

- 0 Marx, Das Kapital, Η Bd. SS XLVII-XLVIII: (Volksausgabe) 髙 畠 譯 本(改 迣 īÙ: 版)第 \_\_ 删 , <del>| | |</del> | [11]
- Marx, 親方 þ Ø 健 0 用 လ Ľ 髙 ヾ 畠 ð. 勞 譯 働者 本二 の八 數 六 頁。 ሎ 槭 中 8 て,小 111: 0 t " ン 最 7 1 限制 度 旋 内は、組 局 合 限员 すた る 8 と各

凌 15 **-**j-る 如 15 ح V つ Ø ئە م た ટ 合 æ 8 K 亦、安 そ 的 め 7 Ø で 貨 ぁ 理 35 所 3 達 れ す 有 3 た 老 しの は 法 ば 高 Ù 質 现 如 ş は は 自 Ł そ 差 異 資 科 0 本 にし 12

b 4 8 有 密 る ح. 名 乍 V 0 接 な 第二十三卷 0 紀 不 み 7 文 軰 0 る な に否 三 0 ば 3 らず、ま 1 つの重 關係 な Ø ○元五七) ス V b 9 Ø 0 τ 71 な 極 12 獨 瓜 ある る **ن** め 逸 要なる IJ る。 7 0 と ~ も の ح 11 沚 トフ 7 瓜 明 會 71 15 <u>,</u> 1. 想 IV ۲ 主 Ł 義 1 V 7 72 は n ス N 者 જ ば、マ は 即 ね 1 は 0 エゲル 單. ス 5 ば は な **b**" 頫 N シ に、サン・シ 獨 6 1 ズ 逸 1 に由 YQ VQ 哲 ッ 4 スの思 の 0 9 璺 山地 瓜 來することを 2 モン、フ 0 0 想は 想 み 哲 的 で 學、英 進 71 獨、佛、英の思 淵 ウ は 源 步 9 リエオ な 一國の古 圣 U S V 誇 72 道 て、レ 圆 9 破 オ Ŧ, ۲ 沠 家 想 J. L л, す = 經 73 溯 C ~ グ る「註一二 屬 流 濟學、及 ~ **お** Įζ と最 する は 曲 ス Œ

0 + る な完 B す ラ 世 75 V 成 \* τ z 紀 產 的 C 者 ス 0 物 は、 の長 Ö 12 フ で 義 革 あ ラン ある 间 21 肵 9 命 能一五 かい 說 立 10 2 3 た。八胜一三 的 2 ح 如 ス 0 は V 1 學 何 諸 τ ス H 說 lζ 大 12 n Ħ 次 ج. ځ 4 :C 深 צ 5, の 0 I, ح ح છ p 8 0 4 71 の つ グ 主 0 は 17 で 的 繼 脹 生 あ ス V 高 の こ ¥. 續 づ 經 理 ふのである。「近世 る。(註一四) V る ス 說 あ 界 12 的 n 統 ح フ 9 的 ۲ 形 71 τ ž ---は ラ 祉 0 行 定 體 12 爽 力 > 世  $\mathcal{T}$ は る 故 17 國 ゥ ス 學 質 n 有 にエン の、フ ッキ は τ 8 n る 者 す ラ イ る 17 てゐる。 前 ح ゲ 置 材 想 進 近 IV ح ج 0 处 料 世 か 2 政府 スも 主 2 的 8 n せ 沚 者、資 τ 承 17 ĸ τ 狀 .12 は J る 者 見 あ か 8 態 主 9 る。「か であり、 0 Z Υ. 6 ح 家と T, Ø づそ 収 如 近 3 認 は 想 Sp. 世 0 ح 元 識 會 0 天才 O 沚 外 ね b 來 銀 か 主

る Engels, r Entwicklung す 3 Z) 16 des 9 Sozialismus N. τ von der 者 は Utopie 旣 15 zur Wissenschaft. 他 0 會 17 Vorwort zur Ausgabe von 敍述 し 12 ので ある。(胜一六) 1882. 7. Aufi.

ğ. Karl Marx als Denker, Mensch und Revolutionär herausgegeben Rjazanow

Karl Kautsky, Die historische Leistung von Karl Marx. 1919. S. 25.

Engels, Entwicklung des Sozialismus. Ņ

チ \*\* デ 4 # イ」さマル 1 ス配合 Ħī 昭和 hid 年. -|-月 改造所 根

完 B る 3 七 立 ح 51 年(當 17 み 9 ろ ~ (一五元九) C 更 で と 6 ある 6 る 71 ス な 12 儿 始 ح か *p*: 歳)に ષ્ટ જ B す 9 ۸. たり る C N 理 彼 17 周 及 で **Æ**, 0 から 细 ス あ ゲ 父 203 0 で、そ 3 iv Z 10 事 Ŀ 办; 0 與 質 0 0 0 ^ 7 12 ある h 片 想 5 書 \* 的 で な 瀚 0 出 下 T. Įζ h ~" 發 想 だ w 魁 的 71 の y 立 IV n 先 \$ V 哲 は ~ 9 で 驅 て、ド あ 大 者 彼 學 て、深 3 圣 Ø は **%** 旣 全 在 有 2 體 17 ۲, る 0 カ 奇 I. 0 な 及 巖 X 0 1

用文

の示

入會

را

12

の

で

**%** L におい イ T 道 フ 早く ζ ζ T, 光 置さ 程 す 71 る 0 て、また 9 から n r 12 ヒ・ク 6 有 72 Ś 1 τ \* ヘエゲ る す 0 0 0 30 玔 基 7 0 オ ずるものは、通常 の意 石 段 はそ 5 z 0) る 哲 圖 なった、最 のマ 0 rþi *b*: 圣 を示 15 學の影響 觀 で、ま で V 黗 は す τ, 9 決 <sub>ያ</sub> 12 る  $\boldsymbol{\mathcal{T}}$ C ら考察す ~ L ح ĸ, る ス ねる を受 ヘエゲ てな ゲ 重要 Jν な 30 ح 拔 を許 ク IV 史 ح 本 ス 崒 Įζ V な 祉 IV ح n 0 25 で ح 2 V 歷史 B 12 歷 な の關係 0 で る シ 0) 史 目 べ 然であ 1 觀の せで 及 あ 國 , **, ,** 从 的 ス が、考察 る。 び は、獨 家 **%**: さな ン 礼: 到! の 3 Z 6 冹 11 12 會 論の 匮 邈 論ず の 祉: 故に、マ せら 的 及 理 Ø 7, n 大な進歩にお 要素 論 ば 後 中 る 會觀 歷史哲學 n 代 0 でマ Ø z 得 0 で N 及 る 理 冰 なほ一度 あ N クス び ァ 有 Ø Ø) クス る。(註一八) 國 で 的 は す 發 V 0 家 る あ て、施 爬 祉: ح 觀 h る。 成に 弧 0 ^ 會 漎 \* 譋 9 **.** ۱۲

て、最 C 衠 ね 0) 尴 る。公註二〇 ヒ・ウ જ す 0 N は 大 3 的 な 0 ጵ 議 基 念 る な ۲ 論や引 ~ 史觀 3 影 ろ Æ. は、依然と g-響 な ム・フ 的 る Ł グ ( 照までも 立 4 N 一場の 13. の Ċ 概念上 を ŋ  $\mathcal{C}$ スに 重 對 ŀ, jν ľ 立 後 災 大 1 0 視 踏 71 の ス 並 ッ 及 6 K. 至 <u></u> ፡ す U 71 あ つ C 區 Z る し ÷ 3  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 12 别 **る。・・・・マ** Ø IV જ を 1 哲 7 ゲ 襲 ス オ 學 n なほへエ 踏 Ø は、マ であ 者を 71 英佛 L 71 反 看 12 £, U る。(註一心が 過し て、歴 グ 0 V Z 1 て、へ ち け W み スの 的 ス で τ 更 J, な の は 0) 唯 並 る 礼: 質證 な B ゲ Įζ また 6 會 史觀 の N 0) 祉 C 圣 觀 的 ÅJ. 會 ある」とい 並 屢 祉 的 Z 17 踏 諭 . . \$ 文 國  $\sim$ 家 どへ л, 家 は ٤ τ ^ っ 觀 ゲ **3** 0 ゲ

Ł

げ

**ろ** こ

さが

<sup>---</sup>٠Ŀi Schriften aus der Frühzeit. (Reclams Ausgabe) Ss. 23 ff. Rjasawoo, Marx and Engels. chap. II. Marx, Brief an seinen Vater (1837) in Karl Marx, Lohnarbeit und Kapital, Zur Judenfrage

八 例へば、ハ ヒ・ク 泉 敎 授(社會 M M 矿纶 4 ル .7 シ ズ ۷, ટ 國家

Gesellschafts-, und Staatstheorie. 1920. I. Bd. S. 224-

第二十三卷 ○元六二 市民的社會ご國家

24

出 1 O Cunow. op. cit., S. 245.

71 英佛 r 0  $\boldsymbol{\tau}$ 12 籞 ね ろ 30 に、國 7 ح 0 な 0 n 求 は 25 0 ľ 有 10 1 \ \ \ \ す か る 的 5 謂 Ŋ, は n 5 z ઢ જ τ 0 法 る τ, のだ 0 間 市 生 ヘエ ፘ だ つて 存 0 民的 8 ጅ ゲ ね 係 Ś V 神 る 社會なる 3 <u>کر</u> ح <u>よ</u> こ 0 łζ 8 四 國 **م**ہـــ ίE 2 الإ ጀ 8 般 家 17 华 0 的 形 的 τ 結 發展に 名稱の下 **ኢ**፡ 態 ઇ る 以 總和は 論 は、そ ج る。 1 後 71 Ø ス 0 क्त 達 J n は、一 7 L 民 10 自 ^ 9 æ, 72 的 包  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 身 う。山口はつき 沚 グ 到 Æ. 15 ス ス F. IV ኒ 九 0 71 は なる 0 b; であ 2 华 祉 ч 8 12 っ 會 べき 剖 ~ ح 次 っ τ 3 的 ろ 世 Ø 7 は 研 0 紀 w ઇ 3 祉 છ 究 會 ス 71 0 る 5 3 は、こ છ 0 で 71 0 は 0 叨 જ V 膫 n る な 9

圳 = 5 政 冶 的 Zur Kritik der politischen Oekonomie. 秩 序 は 副 氼 的 要素 で あ 9 SS て、市 LIV-LV. 民 的 宫 礼; Л 會 M 圳 霹 5 瀊 齊 經 游 的 關 係 育 0 Ξ  $\pm$ Į 國

る 志 る 12 意 0 0 決 か、何 τ ح っ 志 0 動 力 だ 定 7 5 5 ۳. 因 な 的 決 故 の 會 ح 15 國 要 定 Ø Įζ \* 3 n z 志 要 化 8 通 X 5, で 求 の内 で る。 過 あ 0 યુ 結 明 U 見 な 定 る 容 局 な の 72 H 10 は 的 17 で そ な £ Z Z. **%** 切 如 4 題 V ば 0 な 2 10 ح 0 つて て、生 は この 何 は な 要 一致 世 近 2 な 6 求 る īlī 想 決定さ 內容 る 產 代 Ø B 12 は 力及 内容をも 單 法 ч 的 史 71 71 5 律 łζ 15 る 祉 れ、諸 限 U. 形 12 市 0 0 は、そ る 會 ^ 交 B 9 尤 形 ح I. \* 階 的 換 τ つて V 8 C グ 級 τ 意 關 な N 者 は ねる 中 欲 係 だ 0 15 B Ø 3 Ø Ŋ 的 0 3 家意 か、何 發 Ø V n 合 0 動 ź 9 展 づ 72 意 形 力 3, 17 7 V n 71 芯 か 處 芯 z 定 Ø は、彼 0 決 太 **3**5 は z) J ど 的 胍 定 9 儮 全 5 方 V) る 3 僼 7 ኢ ح 面 12 **%**: 0 r 決 で נע 淵 Ø 人 め で 支 る 抱 定 あ 6 內 で 0 あ 配 21 要 動 V  $\mathcal{Z}$ る 見 意 ある 容 っ C は L の起 ч. n 7 D) 芯 カ; τ 國 T 意 ح 1

第二十三卷 (一五六三) 市民的社會で國家

一大

削: 1 Engels, Ludwig 三九頁。 Fluerbach (Marxistische Bibliothek Bd. 3) Ss. 19-09 佐 F 文 綳 譂 水, Ξ -Li

τ る で 主 る 義 で 的 V ス ある。 要 素は 旣 71 **J**. 滅 グ 退 べ な して 0 祉: Ũ ねる りそ 會哲 ځ 學 0 は 0) 思 想 影 V へそ 發 0 展 0 4 會 0 ıþ. 0 13 71 は、へ 膫 10 工. 12 到 现 グ 逡 U は iv 0) n 12

## 四

4 。 入 の ľŊ 以 祉 て、重 Ŀ n 偷 ば Ø. 及 過 直 要 理 自 (X 覛 6 由 から吾 10. 世 お 0 6 C る V 念 あ C Į, で あ ス 3 的 ح 0 づへ n で 念 あ I. は 17 る の ゲ 生 法 ح ح 諸 移 命 캢 6 に、ヘエ 71 の **5** ° 念の は、何 9 3 S C ゲ 人 エグ ٤ ح 及 w ۲ 0 形 τ 0 圣 證 یح 泚 承 法 す 識 認 會 ど \$ 學 17 肥 す --的 す 0 0) る 艞 3 は。 沚: τ, て、そ 念 余 會 ح は家 自 0 學 Ø 8 现 的 族 象 で 有 方 त्ता L 法 8

側(Rechtsverfasung)と 々な 意 で す 2 統 念 欲 ある。(註二四) て、成 る。 (三)而 てね <del>.</del> は る 在 × 公 īļî そ 形 17 Y 貝が る。 を £. Mi 生 的 驶 自 Ś (一)直接 存 獨立 邟 5 失し、分裂し、相 7 て、そ て、 こ 會 の V 0 7 の 目 よって、而 は、成 现 客 て、家 0) 個 的 0 샃 實 觀 ح 自 8 貝 化、そ 人と 75 的 族市 なっ 6 體を 现 の な は 0 17 對的 欲 實 して、そ 自然 る 51 0) 民 望に 性 C જ 自 ? 的 ľij 0 8 なる 0 山 0 7 結 國家 に、換 の特 ļ である。 會 人偷的 Ø の 4 合 つて、人格及び 立 形 國 0 が、質體 言 殊的 脚 でありかく 態 念である。「胜二三 ح す 地 17 12 質 迎 並に に移る。 n 神即ち 體 故 ţ 動 性 的 ば اکر ک る運 現 Ø ۲ 、共同的 圆 總 目 せらる r 體 財産 憲 Ø の精 家 勤 的 有 (三)かくてそ 及 如 族 71 (Staatsverfasung) とを有 す C 利 < の確保の手段と であ 闸 よって、たい精 丽 > 3 そ 益 L Ø L は次の形態 Y のため て、形式的 0 **3** であ ر ک する。 .> 總 જ ح 0 體 は る。 の概 17 त्ता 0 0 Ł IJ な總 外 15 12 民 賞 念がそ ちそ は 21 ح して 的 的社 體 ¥ £, 0 心體を形 秩 括 性: V 5 理 は、存 た人倫 序に 间 す 會 Ø は、そ て現 念 自 る で 0

第二十三卷 (1 五六五) 市民的社會を國家

推二三 Georg W. F. Hegel, Grundlinien der Philosophie des Rechtes. 1821. ? 142: Hegel Sämtliche Werke heraus gegeben von Georg Lasson Bd. VI. S. 133 八

= 四 Hegel, a. a. O. § 157. S.

16. 姻ど る。 S ること 奎 C は 闸 家 あ ч. な 71 である。(註二五)加 0 直接的 族 る。〈註二六〉 配 Z 慮 躞 族 ح 0) 71 し であ て、成 4字 の 0 芯 て、而し 如 直 和 9 な 向 質體で 的擴 る。 て、家 当外 <sub>ያ</sub>ን 接 貝 は、絶 < 12 0) 人で 族 して、家 てそ 概念の の íYj るこどの 對 族 相 的 存 しての家族はその本分とし 如 の結 Ħ. 0) 45 在 あ なる 3 0 族 他 形 家 17 態に は、次の三方面か 本質 0 多 族 ために、この統一の中 ないていある。 樣 原 ح 故 は、自然 し 10 則 ঠ 性をして、その中 て、外 尺 V ^ 12 0) ζ. Υ. 3 的 に 出 15 (K) は ある。 行さし 至る。 71 三子 現し 相 ら完成せらるゝ 同 的 劉 (二)家 にそ て、自 女の 自 τ 12 ſĸj に
な
ける ۲. Įζ જ 0) 0 家 濧 族 の個 多 教育と家 的 覺的 の <u> 37.</u> 連 源 族 の財 樣 で Ø) す 性の 統一即 あ 性 る 0 8 る 產 は 人 に至 族 自意 その 及 水 で 有 大は、一 般 の C ち愛を す あ る。 る。 જ 識を有す 3 に、猫 質 解 別 方民 體にも 的 ځ Ø (二)奶 z さし 有 立 71 ۲ 族 n 0 す は

71 性 ¥ 9 L B る欲 ば、意 者 0) 12 て、市 V な 7: 瀏 0 τ る。〈註二八〉 5 立を 7 民 낖 4 AJ る 71 初 的 とそ は、支 翮 Z 'n る 6 0 係 會 0 配 33 で 今や ~ 本 充 は 的 發 あ 質 足 成 權 生し ح 3 本 ح 立. 0 力 す 涨 0 相 す 71 然る Ť2 家 る る II. ļ 0 作 0 っ で、從 に、今 て、ま 0 會 で 71 か 17 P 6 9 3 J 12 つ T 殊 \$ ч. 自 性 的 は、 行 由 的 な 初 人 の 17 る 決 0 定 ₹\ 立 જ る Ţ 者 0) 0 失 Įζ 加 75 至 は は は、一般 散 最 的 0 で 薬 初 なる あ 12 せる家族 性 世 Ø 加 る。(註二七) Ø 6 ઢ 自 で がその め 己 0 n で m あ 共 ね 決 る 定 ば して Ш 同 3 な 者 體 ح 發 3 の 0) 務 な 7 C 如

八 六 五 Hegel, a. a. a. O. နာ 0 Ó 0 % 16o. % I58. Zusatz zu 8 181. Ss. လ è Š 140. 153-154

ح τ 0 具體的 目 8 人が ч. 0 ījī 具 民的 體的 記: 個 會 人、欲望並 0) 原 Z 0) H જી 0 的 で あ 3. 乍 併、特 Ø 殊 0 的 合

333-334

第二十三卷 (一) ボカセ) 市民的社會と関家

すべて 現せら (能二九) ع ٧ は  $\tau$ の現 派 組 要及 の人 現質 に特殊 織 つて 8 質性 、(三)そ M 0) 的 の X n 他 し 72 8 利益を共 て市民的社會は三つ な 꼐 そ (==)の内に 國家 と法 の勞働及 3. 己 n 警察並 は 的 保せ さ組 故に、個 本質 (äusserer 目的は、一般性 包含せ 同 い 国 利 的に び 6 み 盆と 欲 る 合せられ Staat. らる 體 望の Ø د. L Įζ 生存 0 Ø 充足に τ よる欲望 ` の要素を 71 である。 Not- und 旭 τ 殊性と 自由の一般性 並 虚する ねる。 に幸 つて 組 る かゝ く 包含す Verstandsstaat) 0 ح ح ح とそ Ø 人の 9 0) づ ح の現實性即 る。 # 如 0 12 欲望の n に残存する 4 £ (二)個人 組 71 てある。(駐三〇) 存 H として見ることが 織 Ł 71 る る 媒介及び を称 Z, 7 V の 5 て、個 ける 7 n 勞働 偶 法制 あ べ 然 τ 法的存 る 人 あ Ø 充足即ら欲望 外 性 71 15 る。 \$ 的 埊 相 12 ょ 對す 國 福 在 る つて、並 互 **b** 出來 依存の 家 はすべ ح 産保 る  $\bar{\bar{o}}$ 即ち る。 71 8

能二九 Hegel, a a risse & 523. Sämtliche Werke. Bd. V. S. 0 ₹ 182-183. Ss. 154-155. Hegel, Encyclopadie der philosophischen Wissenschaften Ŗ. Grund

= O II gel, Philosophie des Re htes. ? 188. Ss. 158 159.

は、生産 件的 である、(註三二) 活 勞 動 要 的な 隷 對する 71 0) す 屬 0 從 組 る 生 縦で ^ اد. م つて、益々 活 ح す 加亿 從つ 資 あ J.  $\mathcal{C}$ る C 生產 方に 0) の 彼 人 で 0 71 の ¥, 的 望 ļ 個 ኒ 各過程を な る。(註三二) V) 4 11 'n 勞 人 C 0 Vď 的 ば、こ は、 働に 利 の 會 以て **b** Ø 盆 0 は は 特 Ø 7 殊 礼: 机面 鬭 る 争場と 性 會 個 0 ሄ の結 活 U ر ک 動 制 0 殊 Ø Ø 性: 充 に、從 の たのである。(註三三) とし 領域とマエ Ø 足 殊 性 表 抽 Ø て、市民 象 现 0 12 9 的勞 であ 結 ч. め 果である 15 的祉 グ つて、 適 N は 的 は 會 關 ح' せ Ħ 方 はず 欲望の 6 0) n 71 ^ √, 0 殊 £, 12 τ 12 充足 無條 性 勞 5 0 0 τ は

Ξ Hegel, Eccyclopadie. & 526. Bd. 4 လ 436.

11 11 Cunow, op, cit., Bd. I. S. 241.

Ξ Ξ Hegel, Philosophie des Rechtes. *2* 289. Ś 238.

質觀 民 8 的 યુ 礼: اک ح 會は n 人 圣 間 氼 Ø 0 洪 ~ 同 生活 Æ, グ N に あ 0 文章に V τ 如 何な 聞 z), る地 仗. を占める か。 吾 \tau は Z Ø

ījī. 的 沚 の構成 は、國家の 構成 J 5 જ 遲 n ~ ねる ح は V 八市 民的祉 會 は家族

第二十三卷 (1) 亚六九) 市民的社會さ國家

第十一號

する <u>`</u> יל 0 ጀ 手 は彼 った。 的 法 家を て以 躞 礎 Mi 0 7 で 17 Įζ る 湝 0 前 あ 0 る。 民 b ある 分 ح r 的 旭る Ţ し、市 す は、そ た と 4 民 ار ح にあ T さそ Y p; ろ 2 會 る 别 7 差異で N B から ح ک 性す Щ は、す なる て、理 17 7, 來 r 的 在 lζ 允 目 汉 乍 べて 民 す 念 72 的 **(**) る τ 0 る つて、全體 すことに は 0 0 12 才 Ø) 8 10 生 ج 涎 か 10 10 媒 9 业 到 z C 係する 正自 遂 ζÒ, は、特 0) 目 A. 基 らを充 9 的 殊者 Ø ح で 12 て、そ は す 12 とな 女 足す る 1, ح で 12 的 性: d.  $\mathcal{C}$ ح ある なる 近 で る。 で 0 办 あ T, ح 3 近 0 來 0

的な b's (推三四) 自 殊性 3 由 IJ! ž のみず 性 な 73 , 6 す ţ べて つて 1 τ の特 0 0) み、統制 欲 殊 情 性 0 せら 波 がその幸 *b*; る 流 > n ので 脳を 出 づ 要求し ある。 るのであ 一般性 得る唯一の る。 丽 Įζ ţ L C 9 て制限 4 は であ 12 V. せら 涧

Ξ 加 Hegel, Philosophie des Rechtes. Zusatz zu ? 182. S. 334.

Ξ Ŧi. は

忆

する

念であ

る。

ح

0)

意

赇

١٢

ちける國家と

祉

會との區

别

は、獨逸

Įζ

£

17 25

ける

は

īlī

迅

的

加:

ح

は

全

<

異る

જ

Ø

である。

國

ح

泚

會

8

V

ч

は、始

C

I.

グ

N

17

ኒ

9

て、明

膫

71

3

n

72

ح

4

っ

4

•

0

であ

る。(註三五)

す 示 る質體 第二十三卷 知 な 自 的 図 ら明 意 丽 志は、國家がその 二五七二 8 瞭な τ は 何 質體 であ か 知 3 るか。 的 意 જ 志さ ころ 國家 般性 τ જ にまで引き ځ の人 は を、而 偷 的 し 的 て、知 上げ III: 神である。」(誰三六) 念 72 9 0 72 特殊的 質 限 現 3 で 71 あ 自意識であって、そ Z, り、そ V 國家を形成  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 質行す 自 體 p;

は、そ 0 中 15 自 山 が最高 Ø 法なる 二四

71 劉 自 9 る な 自 理 己 τ 的 次 目 Ø る 的 やう である もの す 10 で ح あ V っ 0 ح る。 てね 法たるの に、この この る。 賞 目的 體 である。(註三七) 的 が、その最高義 それ 務 *b*: 71 國 家 I. グ 0 成 N 員 國家の 12 3 ح

で、自 あると \$ そ ч τ V はれた で は、た 世界 家そ C あ 界 る。 " Ċ, 0 别 ቴ 自 的 本 Ø ځ V 由 ځ る Z) 17 0 は b; 6 Ł, 3 0 知 V 7 \* B て、否 જ て、腰 0 進 な 要 つて、質現 で V 素 な \tau 自 濧 ک ح あ は、個 らを 17 る 的 あ る。 目 4 **%**; 别 す 的 江 な 性 あ 在 3 で ح b 3 V てる。 ינל 精 0 獨 の о 83 6 ر ن 神で τ 質 悲 立 る A) 質 现 Z) 礎 0 何 あ 现 國 で さな は る。 る あ せらるう 家は、世界 Ħ 力 で 對 る。 n 象 あ ح 的 z る。 ば、こ L 自 8 る mi 意 C 71 12 ľζ L 芯 Ħ 0 過 C 圆 Ł. C ਣ 家 本質 ¥" か 知 家 v 自 **%**: z 6 な は τ 山 存在 實 がそ τ Ш 存 す V 自 **%** 箕 施 發 る 0 在 现 する 現 す 0 で 71 ح 實 L る な ある 3 £, 丽 的 2 ح 71 V 図 V 6

5 5 考 駲 な 生 4 あ ح 3 る。 命 V U III! 犯 τ は、こ 7 **3** そ 0 る Ø 者 餤 4 6 カ で 淵 行 界 そ ە ئۆ で あ 71 及 71 爲が、多く る。」(註三八) X ઇ 存 જ 拘ら 片 12 z す ず存 3 જ 0 方 ح 倘 0 面 在: ۲ Œ する b) 71 な の生 6 H r r Mi 國 n 9 家を ばな ける て、慾意、偶然、誤謬の y. ح ک る らなる 人 變 7 10 形 Ø 間で は 當 肯 な っ 定的 ある。 得 B 7 る 吾 **X**J な 0 U 國 家 る 肯 で は 定 あ は ક 土 3 的 る。 71 人 0 ر ح ح なる I 存 な K 的 在 は 3 作品 併最 する 國 玔 0 念

Ξ 六 Hegel, Philosophie des Rechts. 2 257. S. 195 Encyclopadie, 2 535 S. 442.

Ξ 七 Hegel, Philosophie des Rechts. € 258. S. .S61

八 Hegel, Philosophie des Rechts. *№* 258. ŝ 349-350.

第二十三条 的 7 的 利 b) 盆 利 二五七三 益に總括 0 0 倮 如 持 4 lζ 國 す あ 家 b る 9) 15 ع ل 目 的 77 0 は、一 ح 即ち個 般 τ 的 利 る 益そ る。〈註三九〉 人的特殊 Ø & の、並 利益の特殊性 Mi L にそ τ この目 0 中 的 を 12 保 質 は 自 障 體 由と しっ ج L 必 τ

法又 全 統 25 統治 治 چخ : 0 r は 治 r 家 本 家 國 71 自 で と図 來 及 6 X 0 0 る。 的 意 Ø, 0 Z 憲 家 n n 法 秩序の 的 71 る。「生け B ž 的 目 內部的 淵 Ø 包 的 • 基礎である。 क्त 分 含し、そ どする 民と で る τ 的 形 ある。 全 ねる法 組 成 の 體則 Ø 織 ਣ を決 關 同 ため から 係 Z 家 胩 5 律 定 7. そ 71 に、家 は、 族 國 諸 し、外 £ n 活動する か 0) 制 は、國 族及 ٧ 0 成 立 废 部  $\mathcal{C}$ 0 家 X 立 で 的 分 及 9 圆 0 TI あ CK 施 地 法は で 力 民 7 9 17 位を決 0 的 家 ilī ある」。(鮭四〇) 0) 國家が國家人格とし 編成 民的 雕 族 つて、 會 及 定する。(註四し で C 0 0 到 沚 施 あ गा 會 蓬 り、就 の階に 持 設 民 從 以上 的 繼續的生產物 中内 つて、こ 祉 る 71 會 , である。 部 存 0 7 Ø する 的 級

批 Ξ ル Hegel, Philosophie des Rechts. 2 270. S. 207.

Q Hegel, Encyclopadie. 2 541. S. 448.

川 မှ cit., Bd. H လ 242.

る る 工. 3 21 IV 現 Ø 賞 國 Ø 家 歷 は 刞! 史 念 的 國家は、彼 ፘ L  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 0 V) 國 國家 家 で 理念 あ る。 Įζ 對 旣 L 17 て、何 捌 11 祭 12 7] 關 は 川 る と 文に ζ હ 3 现 がな はれ Т.

8 V 72 家 太 ح 3 3 的 ろ は、國 そ נע ら、恐 0 ઢ 図 別 0 0 の 女 Ø 箇 理 12 f 肵 念 は 0 で 10 信 法 次 は、 律 Ø 賴 何 及 か b 等 X .5 规 駲 Įζ 團 係 體 定 V 0) ? 0) な 1 b V b 央 12 ح ح 的 出 3, 現 起 乍 で す ある。(註四二) る は Įζ 何 今 至 で っ あ 12 家 3 か: か、そ ---般 **b**: 0

鮏 Hegel, Philosophie Rechts. 8 258. S.

は、これ 家で 史に 17 で 6 有機 E な 现 2 あ V 躗 V 1|1 B 的 Ý. ح 9 的 ح  $\boldsymbol{\mathcal{L}}$ 77 0 は、事 0 的 71 級 五七五 ğ 賞 0 如 である す な # 成 V は 法 史 n 0 が、然 7 ч る 關 あ あ グ B る。 و ح る。〈胜四三) 言 Ó 71 3 ~! 0) गि **Æ** 0 な 國 ゲ 民 豕 階 1 史 V 的祉 級  $\boldsymbol{\tau}$ ば Mi Fli 16 あ 71 生 は 念 0 3 み、存 て、ヘエ 對す 會及 现 0 る。」(註四四) 命 M ä ば 質 111 3 的 CX, 4 す וע 歷 的 3 5 处 0 0 的 'n 7 7 は 完 國 階 法 現 成 圆 0 的 級 家 · 7. 質 家 で 國 を全 家。ま 的 關 あ の 一 0 的 合 第十一號 係、個 る に、そ 存 歷 在 业 然 .12 は不 認識 0 す ľÝJ 人 0 相 ļ 愆 質 3 國 2 五. ځ 0 體 家 0) 間 は ۲ 0 全 8 並 ろ 处 歷 E

る。 12 **%** る は Ø 後 で 华 然 あ 生 四江) 0 性 國 9 並 7 家 理 て、晋 1 E 念 A ح ス 0 0). は 絽 0) 0 見 唱 後 现 道 質 Įζ 12 者 來 的 る ۲ ど る 見 甚 だ似 治 ረ ч 的 終  $\hat{\phantom{a}}$ 通 9 ^ 15 家 72 グ 3 加上 7 Z で 17 8 的j 0 あ 不 る 大 9 旣 215 成 7 12 等 \* は 學 8 俟 者 理 認 12. 諭 0 識 化 指 ね し ¥ ば 摘 7. 6 な る る。 n 6 72 J' **%** どころであ U ح ч 0 ~ 終っ 見 J, グ

H phie des Rechts. Cunow, 涨 赇 ညှ cit. Bd. は、契 'n 见 っ LXVI. 力 て :--૮ Ś 致 て 7 现 る Ø శ్వ は 规 Ø で ځ あ 12 **گ** Ø る 。 家 ΙC Ø 16 ₹. K 故 쨦 18 史 K

ĒĖ Ś 436:

Įμ Jî. 泉 信 三、礼 俞 |||| 題 W. 究 ぇ Ţį

は . . 訛 3 12 る 通 B ^ J. ゲ IV 0 影 r 受  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ る 3 J, グ

する せ に、「然 彼は す で ス N ざる τ 狂 છ あ **~** あ は る。 0 Įζ 的 0) らば、宗 ブ 國 る る る 祉 は、現 が、こ る 71 あ ح 17 會 (註四 6 政 1 ح 最 **----**; 治 貨 7 ろ セ 0 さ 的 15 7 四 ~ 15 τ,  $\equiv$ 7] な あ 17 T 國 令 1 年ア 3 z 4 る 家 7 71 ス £ ઢ **%** n 政 入 は 觀 V 2 0 ž 治 宗 n 7 ネ 7 V は 3 0 て と 8 ŋ 0 ح な 引 的 1, 初 71 4 ۳. 0 n 原 12 ح 7 8 的 上 ば 入 到! す タ」の 17 N 17 諸 現 3 £ 1 可 支 許 君 12 る V ス 持 す 渚 っ B Ç ح 文 0 C ¥ 國 カン ጀ τ 初  $\hat{\phantom{a}}$  $\equiv$ 症 家 あ h. 8 V プ 工 者 禁 右 る 8 圣 家 72 IJ 8 ゲ 0 J. ולל 圖 U 自 3 7 思 イ 6 0 從 る 由 n 0 也 0) 想 2 --で 次 נל 7 反 ~ 出 C 國 17 ある τ 8 3 版 る 未 阦 0 家 ঠ 撰 完 諸 到 る 1 0 檢 V 狀 ば 君 性 見 檢 成 て.本 r V2 15 0 熊 る 関 法 ば ح r ح 规 71 踏 質 5 な 非 駲 2 17 的 ح 12 ح B  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 支 **b**; す 部 72 は、宗 持 \_° کلا は、宗 111 す る 分 諸 L C せ 12 る プロ 來 Ł 2 7 敎 ح h 批 形 る る 0 な 節 8 1 成 紃 0 1

第二十三卷 四 六 Aus (二) 五七七) dem literarischen 市民的社會で國家 Nachlass bun

三頁。 nsurinstruktion. S. ル 1 ス ェン かル ス 4 集(改造 jīl: 版)第二 卷 儿

あ は 7 12 往 あ な ځ す \$ B 现 ヌ III! 3 V 3 で 完 17 12 女 8 充 ינלל 成 は る ~ 新 ולל 告 分 Z 4 6 哲 白 る 0 で で す と 觀 10 0). は る てろ る あ 法 で 念 貎 學 ク  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ あ 3. は 0 lζ X 6 12 者 理 12 ح 为 念 は 5 君 ۶. 祉 國 的 自 が 會 家 自 犷 0 ž 由 來 聞 理  $\mathcal{T}$ 0) な 3 第 質 ૾ૺૺ 成 n z 自 百 現 ば 本 す 爬 由 r 71 か -1 3 で 的 開 + 0) -な な で 17 九 見 V 3 7 5 炒 4 ---主 は ځ 4 C 仝 家 名 は は 體 は S. 惡 ス צ 0 <u>ن</u> ľ 人 0 恶 + 理 題 理 會 図 ス 家 す 念 Ŋ r צע ス Z) \ 办: 3 性 מלל 0 で 希 6 b ŀ 4 b か 本 あ 望 0 展 性 文 5. 6 能 す る 意 的 ح 的 0 公計 n L か る 圖 2 中 4 國 自 6 r 72 Ø. 71 n 由 Ø 或 Ŀ 存 0 な め は 12 0 જ 併 で は で 在 S る 哲 3 ---

111 な す る 忆: 6 30 **V**Q 人 間 ď 4 的 5 の 八 理 3 見 0 解 0 m 圣 自 ઢ 然 個 し 法 C 17 51 0 法 衂 從 的 ኢ 凤 道 10 は 德 過 的 . ح \$ 政 > な で V は 的 ځ Ħ 國 ح ્રી 山 法 ろ 12 *p*; の f 大有 0) X ح 質 ج. اک 现 機 體 8 共 ح ţ 處 考 っ C ^  $\mathcal{C}$ る」と 只 獲 1. 彼 得 V 世 目 って ね 0 ď

1/1 ٠**ن**٢-買。 Der leitende Ë, Z 79 der Kölnis hen Zeitung. Nachloss. H Bd. Ś 全 集 第 Ju

μq 八 267. 仝 集 郛 ル Ξ 頁。

0 5, C 316 存 0 ス 狀 31 形 在 0 態 式 8 家 四 3 忘る 17 な 書 四 Ł C 及 係 > 反 刊 9 łζ 孔七九) X 圣 12 炒 腴 10 結 Z 太。 如 の獨 4 3, b n C ح 伽 0 0 5 12 る。 ح. 3 7 华 誌に 極 8 は は 乍 目 Z で な 的 併 U あ נע 現 17 る。  $\mathcal{C}$ **う** は 國 在 12 n 家 從 Ø 0 12 7 2 III 12 で 0 -て、批 眞 **つ** 办 あ 念 N iż る。 的 質 > 1 見 あ 判 ス: 0 ľ, 現 3 者 同 解 の 質 现 は 4 誌 3 z 質 到 th1 有 發 0 b 0 U 文 爬 固 的 n. 9 到 及 す 有 ゥ 3 な C グ 的 17 形 質 な 彼 グ ځځ 江 際 與 形 は ^ 的 定 જ b そ 0 出來 意 12 5 71 0) 祉 Z. 識 \$ 7 现 3 n 0 5 N 質

Įζ 定 み p's 0 様 る 0 意 71 女 識 家 川 τ そ そ B Įζ 的 3 國 理 は n n な 到 71 7 そ **%** は、ま 故 V 业 は 現 0 n ر ک 0 祉 質 外 0 12 的 到 n 主 生 0 際 4 Bd. S. 政 る は 義 存 下 的 行 ح 到 的 11 14 381. 鬪 的 7 る 买 ろ ځ 求 す 仝 切 宗 0 家 で ج で 3 集第 0) 寀 敎 3 尤 7 限 祉 引 25 で 3 3 會 で 理 る 3 10 的 あ 頫 自 n 0 3 0 的 から 丽 7 τ 八 鬪 理 8 實 3 は 頁 邹 即 0 命 T, 2 な 政 欲 5 的 ح 世 治 V 望. 政 鬪 Z 71 0 眞 治 爭 有 0 政 合 理 的 0 つ衝 現 で 索 圣 國 質 & な 表 家 71 突 的 る そ 現 は で מל 諸 حج 0 そ す あ 5 前 想 ----0 **る**と n 3 到 提 定 12 切 は Ø ح す る ど 0 1, 12 。公註 形 等 ح ح る。 0 そ 現 ح 矛 式 四 L n 代 N 0 ろ 盾 的 7 15 政 內 T: 12 0 L 形 n

ч, の猶 題 る 7 8 關 太 1 人 ス 間 71 ч. 題 B 0 で Ŋ 祉 あ 3 3 會 初 並 期 17 5 0 の獨 國 祉: 家 會 佛 Ø 及 現 华 X 誌に 紁 國 z 家 揭 明 觀 W. 25 6 最 15 n  $\hat{\phantom{a}}$ જ Ŧ, 牏 鮮 ゲ 文 明 w Įζ 17 的 表 Ł. 色 現 V 彩 τ, F z 6 ~ ઇ w n 2 1 7 7 ス る は 3 宗 0 敎 は

四

0

敎 7, 0) 間 ě, な 第二十三份 6 īlī 0 p; 對 前 V は 7 0 民 世 俗 力 私 0 會 גע す あ 者 现 的 b で r る 0 る 質 は 再 あ 15 8 玩 حج 71 二五八二 15 12 る。 CX 5 0). で 認 す ч. 政 V 中 あ 治 る と る 治 め な 活 ч 12 21 3 的 性 の な 的 市民的社會を國家 同 直 X \* **3** 闸 後 L 40 接 莵 樣 的 者 同 d. TIT 質 は 的 立 服 な な 政 0 は £ E 现 世 す 對 態 治 即 1 7 的 V Ø) 質 し 3 抗 的 間 度 5 τ, <u>-</u> 15 本 己 め、そ 71 8 ح 71 國 を त्ता d. 的 質 立 Þ 同 家 とる 手 民 H 重 þ H つ、そ し 樣 は 段 的 る 0 活 は る て自 な 市 祉 視 生 啻 v 人 Z 仕 n 民 活 會 ち 17 らそ 間 n 方 は 的 自 17 で 天 ば Ŋį 71 त्ता \$. は 6 あ 國 τ 人 ち Ø 於 त्ता 民 そ H 會 的 14 る 間 市 支 民 る Z  $\boldsymbol{\tau}$ 71 3 な、並 Þ 0 前 民 配 す 的 祉 生 0 V 提 的 る す 活 祉 中 ÇĶ C 質 續 は 祉; 3 Ŋį \* 會 で  $\boldsymbol{\tau}$ で 73 II. す 的 國 肵 5 克 あ 71 恰 現 人 識 る 生 に於 服す 3 國 つて、そ 對 か 7 間 世 存 15 0 手 家 ならざる し જ 的 は å. lζ ける છે. 3 て、恰 天國 段 自 な 圍 V 治 女 Įζ 8 Ø 6 生 7 的 外 立 12 恰 25 D) な 中 \* 活 0 國 21 ता ינל ઢ 地 で 共 从 r 家

三四

7 で गा は 充 あ 民 俗 72 3 體 的 的 3 彼 بخ 礼: な は る。」(註五〇) 會 ઇ 彼  $\mathcal{C}$ 71 0 5 65 Ø M である 现 用 笡 j τ なる る は、人 肵 個 0 間 \$ 國 は 人 自 的 家に ---他 生 0 10 活 ¥, 對 r 5 真 τ 質 τ は、彼 なる は 現 n 質 现 は一の假想 な の 象である。 非现 ح 貨 的 的 τ 之 土權 な M 3 用 沓 の、想 反し す る 遍 性 て、人 像的分子 肵 z Ø, 以つ 間 2 25 0

Ji. 0 Marx, Zur Judenfrage. Nachlass. ず」四 삗 Ξ Ą I. Bd. Ss. -408. Щ 游 六 器 猶 太 人 JII) M ž

ч ۲, の 同 r の氣 更 ľ 6 得 行 で 私 Įζ な 迎 7 あ 利 z מלל る 私 9 る が 1 ~, ~ う の ス 5 iv 世 17 界で 1 2 よ れ 12 な ス は ŤΖ Z) あ ば iv つ る 國 ~ 向 r る ス 0 ゲ 7 は 0 あ 9 गि 遍 る。 0 民 工, 的 的 ゲ で す 0 な あ 沚 Œ 3 同 3 會 ح 17 B 緪 立 の 同 四 5 は 體 艞 ځ. + \_\_ 10 0)  $\hat{\phantom{a}}$ Ø. 念 42 國 I. は、へ 見 度 グ 活 0 家 17 z 初 iv で ı. は 父 B જ 0 あ グ ぐ ? 圆 3 N て、一世 0 理 \$ 家 ती か 想 對 V 民 治 5 主 **C** 沚 界に 的 義 的 ح 會 沚 n 者 \$ Ø 會 を 12 放 H 濧 は 享 2 的 立 る 欲 7 حح 望

至 に、「國 गि 9 的 71 त्ता 同 0 ч. る 6 72 柽 民 許 民  $\mathcal{C}$ そ 0 的 5 項 家 ζ'n, 地 0 體 を Įζ 治 理 位 力 あ 0 す 二五八三) 6 的 \* 6 15 主 主 は 形 W 民 B 0 0 ク 放 同 る 0 V. 0) た。「誰五二」「政 は す 7 同 分 項 n 部 る 同 Įζ な τ ìli. 民的社會で國家 分 時 īlī حح 組 0) で る 自 民 は ح 17 17 8 合、 表 あ る 體 市 的 ろ 同 ぁ ૪ 12 る 治 圣 民 证: 11 0 6 15 的 的 會 物 叉 15 5 革 脏 並 0 115 質 72 る な の 尺 會 利 的 方 B 完 깘 0 己 的 及 71 な 政 精 祉 U. B \* 12 D) E は 治 評 浉 會 は 的  $\mathbf{V}$ 9 ح īlī 的 r נע 0 C 市 12 ح 革 民 生 6 は、こ な 民的 的 ح 1 的 > 活 V Ø b 貨 な 12 る 5 0) 政 \* 主 仆 n 3 政 治 文 放、 7 Z 義 H 0 政 治 0 n 0 --- $\tau$ 0 素 0 \* 治 あ 革 政 は 0 る 4 的 6 治 命 0 12 0 革 W は r 凤 で 0 3 业 あ 生 は 身 然 を 沚 な 之 分 內 12 0 9 活 分、あ 的 0 的 (能五一)。 120 17 内 71 71 な 分 0 破 容 成 6 まれ 事 L 5 政 部 で び WD. 9

8 望、勞 な す 0 働、私 で ある、從 利私 9 0) 7 世 そ 界 Ø を 自 目 然 し て、そ 的基 礎 0) 存 8 な 在 す 0 根 0 底 で あ 8 す る。「紅五三」 る 砂 0 6 第十 あ る、自 明 0 提

- Ъ. ţ 421-422. 器 本、七 八 七 Ju 頁。
- Ħ. **B**d. Ś 0 頁頁。
- Ii. Ξ လ

þ, Z あ 礟 C か 3 z V ۲ 國 0 る r 0 治 な る 的 6 る 素 民 别 な ず 0 8 主 差 r 反 ば 刎 9 あ 沚 國 0) ح C 3 會 家 0 25 宜 前 0 見 言 2 な す な 0 沚 方 6 與 n 71 収 者 る 合 15 7 17 だ 國 71 家 ঠ 3 9 家 宣 が τ る z τ. 言 ح **%** は 設 國 す n 私 定 0 3 る 有 义 j. 場 0 ځ C C 生 合 差, 'n, 產 r 7 る n 國 別 は 3 3 8 分 決 か 25 顧 8 す 身 現 慮 בלל T n 0 實 す 8 な る 止 左 15 יע る ح せ ح 0 £ 4 敎 國 ح 6 5 民 な n C حح 4 業

を あ 有 依 る。 政 財 治 K 的 図 ጀ 図 τ 涿 ч. 私 ح  $\mathcal{C}$ 敎 有 感 财 Ľ ۲, そ 存 0 Æ. 7 敎 业 遍 5 的 n 0 ح 性: 質 別を 0 7 Y 圣 國 發 7 揮 せ J-す 要 る る め 0 17 چ. 夫 ح で あ ろ 0 る で 能近 は 抗 な \* 15 反 9 7 言 T 0 ح め ・す n 3 n 5 W Ø 自 私 0 で

能 Ħî. <u> [24</u>

る る 本 Ø る 7 國 が 7 で 家 依 圣 Ł あ 5. ど る īji 5 75 8 彼 殊 的 0 τ 72 15 沚 政 ījī. 0 會 で 17 ځځ あ 的 B 及 0 祉: る 71 V X 本 τ 會 質 0 民 ~ נע 17 關 世 討 τ D 17 す 關 15 ス る 對 は、宗 は す 說 す  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$  $\hat{}$ 3 IJ る 敎 I. 說 は 的 ゲ 度 w 19 沚: r 放 0 深 0) 道 的 B と 問 17 9 題 迹 15 5 2 b 3 n あ 決 な 7 圣 9 币 为 8 見 72 5 6 **ታ**፡ る 0 n 猶 浦 7 民 で 太 8 あ 的 3 为; 3 沚 問 7 0 出 殘 題 會 J. 來

第二十三卷 工 ゲ IV 0) 図 二 五八五) 家 派 15 市民的社會を國家 會 觀 Ŋζ 影 3 n 9 .> Z 0 沚 會 的 認 識 圣 B 7. 行 9 三七 72

0 上 あ  $\boldsymbol{\tau}$ 17 る IE. Įζ ځ 依 τ τ n 9 な 9 す Ħ.  $\mathcal{T}$ る 3 ч 立 は 5 ૪ 9 今 6 n 3 6 で る ح 5 0 71 间 な 民 7 兩 ح 8 9 ਣ N 國 0 示 が 71 71 £. ス 17  $\tau$ 0 る £ 7 る 2 0 n す る 12 Ţ る は 沙兰 あ ブ 過 ता п ř 立 民 少 イ な 的 日 也 祉 V と 0 ~ で す 至 X  $\pm$ あ る あ 祉 9 حح る 2 力 71 知 9 祉 T. τ rч. 事 गां 國 會 N 9 El. か *)* 家 改 17 民 72 9 關 木 9 良 は 的 0 ッ حج 灭 凹 質に 批 旣 見 國 ッ T 12 判 會 る 深 # 經 傍 0 ح 濟 ---ح 1 主 现 る 註 北 八 影 見 學 17 8 在 は 17 四 礎 3 服 0 響 文 里 向

15 行 0 ч. 方 0 乏 的 或 は 故 z 澎 B 的 3 觖 陷 何 71 故 原 因 *b* r 4 求 n B 1 Œ つ そ n 行が 政力

0 で

3 V ح 0 2 で 15 0 從 生 あ 手 ح 9 活 3 な 可 7 72 ч 並 8 汀 分 0 C ያን n حح 7 種 V Ŋj 12 で īlī 力 V 自 5 民 3 滅 0 C 烈 で 7 的 n 民 的 2 生 圣 71 0 根 0 b 2 活 形 的 C 0 集 ح そ 加 で 團 質 7 गि 歸 71 0 及 0 ۲, 3 民 結 互 仕 ح CK 的 T 15 0 事 0 حج 劉 5 ījī 8 奴 民 會 0 \$ 的 0 C 掠 的 始 活 的 存 ح 5 は 生 女 動 利 自 0 無 活 あ 度 0 0 る 0 分 τ 0 隷 力 處、丁 る 非 0 み ح る 自 盾 市 办: 祉 ُح 15 0 民 行 は 會 0 r 的 政 私 的 2 6 限 0 6 止 祉 0 0 性 有 Ø し 矛 ri C 存 質 自 な 在 Z 15 產 C 10 な 方 现 7 法 由 Ø 行 n 依 0 代 來 則 5 政 ば 存 は Ž, Ŀ 國 で B 0 0 な 公 ば V 家 71 あ 商 0 る 6  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 生 不 C 117 **%** る 諸 業 な 力 2

二五八

四〇

Ħ

Karl Kautsky, Materialistische Geschichtsauffassung. 市民的社會で國家

能能 Ii. Ii. 六 伍 Marx, Kritische Randglossen zu dem Artikel: Der König von Bd. S. 51. 仝 集 郛 绺 Þή 六 八 Ą II. Bd. S. 53-Nachlass.

てブ 隸制 B 礎 人 の 8 垩 7 近 \* 0) 必 収 度 家 代 利 要 \* 37 扱 族に 0 國 b 립 0 Ŋ · 🖹 īlī で 0) 家 0 7 而 民 É. あ 25 坐 な 71 L 8 的 る 自 て、前 > ኒ ~C ッ で 17 求 9 る 0 jv H 人 0 7 如 層 闿 17 沙 9 奴 他 11 ধ **よ** 人 隸 人 近 は す ح 10 異 現は る 祉: 5 服 ح 連 n 國 に、近 を悲 會 關 17 5 る 家 存 n r せら は、ブ ኒ τ 獨 國家 性: Т. 礎 代 人 9 立し は、一八 ねる。 て、古 權 國 B ਣ n 及 yv 家 宣 120 す Т. た唯 **>** X る 言 は V 7 [] 女 政 近 0 3 7 會 等 四 12 治 で 代 视 は  $\mathcal{H}$ 9 近 的 あ 會を 國 f. 的 ح 17 疕 代 3. T 0 家 營利 利 逵 の 刊 組 はそれ 益 認 國 して 自 行 家 B 帶 近 勞 0 然 0 Ø 12 伽 で r 代 る 紕 0 T. z 0 自 越 る。「古 及 基 部 ~ で え 作 家 分 X 礎 及 ~~; ゲ 自 あ τ 6 は 自 X る。公註五七) 身 は 5 自 **J**. 代 X 0) 覺な **ઢ** h し 0) 自 國 翑 7 だ な 身並 家 自 太 V 生 ブ 台自 人 然 25 共 LII) 抽 iv 0 12 9 間 奴 著

ち近 ح 77 は し な 代 す Ċ 0 る 氼 る 3 0) 0 止 狀 で 態」、完 ዿ ¥ 6 る。公註五八)以 成 れ、解 B せ ч 6 體 眀 ¥ 12 6 なる 近 0 n 代 文 p 12 0 ث 5 鸺 圣 權 見 文 0) 出 戠 祉: 會 す 達 あ 71 權 U る の祉 12 ブ 會 沙 r 礎 日 ځ ilī 疝: K 會 す 民 3 的 r 基 0 祉

自 支 文 區 想 あ 害 を V 9 は、ブ 然 像 結 せ ح 7 世 0 0 6 天 6 と n す 政 N 必 n 國 で る **要**、即 n 治 な 沙 あ 存 71 0) 的 る る 在 B C 0 る **V** は 加 ح 活 T な 會 何 考 政 C 0 13 0 10 治 あ ^ そ 胈 る。 的  $\mathcal{Z}$ る。」(能五九) 象 の 5 10 圣 t 質 迷 6 Ł 際 あ V な n 合 p; 17 근 3 ч す V 72 る 主 は の p H 反 み 5 4 现 對 者 彼 ブ 15 質 12 等 で 見 國 ブ な 51 は え 沙 家 当 ブ 25 3) 利 7 V ブ τ 生 Ÿ 8 は 活 N ブ 彼 " 生 0 7 W **ታ**ኝ 活 等 祉 ジ 7 p; 間 は 生 分 17 0 の 活 子 \$ ح 子 17 0 0 ţ な は で 0 紕 つ 嚴 あ 9 分 帶 性 7 7 12 3 子 利 8 で

Ti. 七 Engels. Die heilige Familie oder Kritik der Kritischen Kritik. 1845. Nachlass H Bd. Ss. Pul

第二十三卷 (一五八九) 市民的社會と國家

第十一號

號

218-219. 全 集 绑 卷 六 Ξ Ŀ 頁。

註。註 Ti. Ji. 九八 Nachlass. Ħ Bd. 全 集 第 ----卷 卷、六六 四四 Ji. O

H 84. လ 企 集 第 Į Į

か 6 る Z) 理 方 四 す T Æ. る 17 づ あ V ス 雏 る。 75 す は 3 0 る 法 n 丽 で Ø たら あ で T Di は る。〈註六〇) イ な 並 上 ζ, 17 チ 0 反 エ・イ 如 2 7 7 4 形 デ गा 立 1 態 場 民 才 ス 圣 か 沚 п 的 7 +" 沚 會 n 0 イ 會 自 71 祉 0 0 會 £. 壆 S 來 的 7 0 9 7 體 面 あ 系 目 2 ¥ 9 21 は 7 12 12 賞 は ?(記 展 71 六 し ح H. 12 0 攻 0 حح

六 0 Zur Kritik der politischen Oekonomie. Vorwort.

莊 稿ド 1 チ х 1 ゔ \* P # 1 જ 7 ル 1 ス ħt 會 學し改 쌆 -|-Ħ 號 M

デ

オ

7;

質

即

5

間

0

生

活

資

0

生

產

を

Щ

> Į, そ 女 哲 12 ૪ 72 で 17 は 15 17 0 同 祉 Z 道 は る に、各 が る Ł す 會 最 初 的 人 現 矛 0 政 べ る Į. ч 0 1 0 D'S 産で 人、ま 8 **%** す 有 B 的 12 子 3 あ す ح b る 3 は 活 9 > 则 0 τ 7 形 0 で K B 分 生 あ 產 3 で る。 分 あ 立 0 ۲ 勞 基 جح 利 並 حح ح 71 は 0) 礎 12 數 私 利 は 0 Ø) す נע **3** る 次 有  $\boldsymbol{\tau}$ 6 0 て、家 0 力 わ 遍的 ح 71 1 說 で ず 機 產 逄 3 12 會 な 2 Ł, る 世 CEL大語)。 T け ŀζ 0 z 的 71 6 71 જ 同 る 望 0 は 分 分 會 \$ \$ n の」と 個 性 自 配 立 τ, V 7 分 的 料 山 ч 7; せ **b** מל 漎 分 0 で 5 3 τ 汴 あ 倘 產 め 勞 0 明 は 0 る 9 T 同 る は は 念 的 從 素 旣 る 分 理 ۲, た、(能なこ) 別 朴 U 9 倘 勞 12 て、精 τ 益 C Z ያነ 發 8 71 旭 0 0 在 9 5 あ ح 黗 る ۲ C 71 5 10 不 そ

す

で

は

な

С

0

21

0

分

割

せ

6

0

相

耳

依

ح

L

第二十三条

(一五九一)

市民的社會ご國家

第十一號

貨 71 現 は n る で あ る。(註六四)

誰

六 = 拐 捌 稿。此 想 史に 捌 的 稿 Ħ 義 ~ ル 拁 1 課 ス 住 它 |111 題 錄(岩 ス 波 11: 文 宅 庫 問 版) 圈 15 劉 Ο \* 買る

六 Deutsche Ideologie. Marx-Engels Archiv. I.

六 Archiv. I. SS.

す は 0 全 3 n は る 共 \$ 的 同 す 性 Ė 3 ろ 0 主 支 **p**; か 17 幺J 配 族 5 從 Ě 貴 及 0) 胍 同 9 的 X T V 形 E せ 利 義、王 階 族 0 盆 級 で る n 0) 8 制 矛盾 合 主 國 る 2 級 は、常 12 獨 (正六组)。 Υ. 義 家 15 立 מלל Ø Z 間 存 17 0 關 0) す ح 3 は 0) 0 z 不 到 逃 6 9 V 近 τ 3 ~ 代 あ 種 餬 3 同 3 國 定 家 次 17 ۲, 古 0) 幺j 代 級 充 T 0) 现 现 17 10 實 0) 0 的 大 łC 劒 T 的 牂 る r 别 b 邹 z 特 次 的

lζ 必 9 7 12 的 3 完全 12 ジ 產 4 Ø ۲ な 大 7 I 17 71 7 0) 0 は ブ 2 っ 7 75 2 ~; 17 p; 0 9 12 7 10 有 女 で 內 ч の る な 民 在 て、そ 依 Ø 8 0) の 0 6 で 並 2 あ 0 CX 式 有 す 女 0 0 る。」(註六六) 財 4 る īlī 產 12 0 15 L 本純 場工 至 外 8 17 t 私 71 9 B 2 民 75 て、買 立 H 财 業 71 0 9 る 腶 澬 遊 な 21 共 は る Ħ. す 國 る 71 B 段 15 は V 制 種 在 か 2 Z 1 の 6 C 經 12 度 7 す 71 B る 0 全 15 财 近 あ 到 τ る 私 然 15 蓬 國 近 產 ょ 3

六二六 六 五 SS

第二十三卷 (一五九三) 市民的社會を國家

民 力 淀 τ る 氼 7 0 意 圣 V 9 は は  $\mathcal{T}$ 市  $\tau$ る 厾 W. X づ 的 9 か 段 17 在 は īlī

る で 4 す あ 0 J5 る 训 现 12 前 b b M. ч V 民 ح I. 提 ば  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ そ 0) ح 9 及 形 な は 基 湔: X r 家 3 な 8 で だ 礎 で n V 民 段 あ ځ 族 12 る。 ۲ 0 定 る。(能六七) 意 全 ح 0 義  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 產 商 τ r 生 0 る 認 業 產 ح 71 9 え 83 的 力 7 8 C 並 で る 亦 B る 71 發 あ 9 る. す 丽 る I る。 展 ス・エ 的 U 0) 業 階 业 ζ 祉 τ で 段 的 1 炒 か 0 會しと 內 8 あ 生 內 そ し 71 3 存 15 0  $\mathcal{T}$  $\tau$ 對 r Z, ス 市 歷 W 勿 包 は 民 处 言 + ч る 女 的 的 會 葉 八 は そ す 個 12 沚 觀 は は 世 自 は 3 人 氼 會 察 す 紀 古 6 -0 0 は 3 ~ 17 代 Y 方 全 丽 P あ 國  $\boldsymbol{\mathcal{L}}$ 簽 亚 73 5 6 0 生 17 £, ч 質 10 め 的 歷 し 111 7 Z 的 S ઇ る 行 史 世 12 は、そ ч 交 V 0 族 क 0 易 7 ? 史 0 發 训 Ø 即 r XX,  $\boldsymbol{\tau}$ み 生 度 成 外 限 同 包 5 3 15 地 圣 7

あ あ あ る。 3 す 3 、公能六八) 乍 *ያ*ነ 生 併 ず 產 Ø 並 ~ 加 7 17 4 交 0 意 胩 换 b 化 0 6 71 4 發 £. 迅 服 V 的 T 祉 72 國 俞 沚 家 は 會 派 ブ 組 17 N 織 2 ジ は 0 3 常 7 0 71 ځ: 同 觀 ح 易 念 的 0 17 名 始 Ŀ 層 B で C 示 造 莲 2 0 沘 U る 礎 12 0 r 形 ~ 7

能能 六 六 八七 Marx-Engels Archiv, I. Ś

そ ک 的 る 0) Ti 第二十三卷 11 で 迅 言 悲 あ 葉 的 b p; 祉 ਣ 7 獨 (一五九五) る 77 " 誻 ス £. す τ Ŀ 0 V. る 25 旣  $\tau$ 市民的 3 71 造 部 し 指 --^ 融會で國家 の を 12. **I**. 說 包 0 0 す グ 含 r 明 で 6 25 あ جح 17 0 發 る。 あ C す ح る。 ねる 表 る 2 F 2 沚 7 7 4 n 會 あ イ ---7 12 0 0 般 チ る。 ッエ・イ n 意 0 的 批 で 味 1 17 ۲ あ Įζ 21 < 次 > 用 る T, 9 0 オ 办: 77 6 S 12 7 17 \*+" Ł 7 V IV ح 15 太 n 2 1 8 生 は、デド īlī だ 7 は、既 ス n 民 け 政 ījī 12 素 的 治 で 民 17 ۲ イ t 祉 ઇ 述 關 的 حح チ 會 フ 係 派L: 並 ~ ح 會 12 1/2

九

71 71 示 は 33 Ċ 7 す 是 稍 今 " Įζ 9 非 ح ス 8 7 72 系 Ø 0 9 71 r 家 מל 71 ح る 文 ば ч す E 本 な 3 わ 12 17 b 質 る 體 1. ら **%** 定 系 I. حح Ø 的 1 0 ゲ 形 定 0 的 成 ス を r 形 立 は 態 及 H 家 U 9 r 族 0 X T 13 示 Z 私 る છ 4 0 有 そ 21 0 5 史 產 0 形 及 9 會 圣 XX. ゔ゚ そ 8 0 す 知 る 0 g 3 旭 0 で 源 る そ 0 8 あ す C 71 種 3 あ る £. 0

Ł F 8 5 1 チ 工 ょ す 理 3 以 る 8 21 過 除 0 ğ V T な は、 V " ح ス V は 四 9 殊 Ti. T 71 乖 V 7 D > 0 後 沚 差 殊 會 17 學 國 72 的 る 家 方 71 面 展 15 *y*: す £ な る V d' 理  $\tau$ 9 は

12 支 民 哲 第二十三卷 宣 0 0 下 7 あ 係 的 剧 言 至 71 る Vζ Įζ 心: 0 17 Z. 過 は、 は 貧 至 1 る Ť ح 9 3 C **A**3 定 Z は Ti. 7 生 0 は な 級 规 6 あ 法 上 50 ぜ 及 る 12 代 立  $\mathcal{K}$ L ઇ Įζ îfî 民的社會を の 6 4 ---C 0 官 ば 切 Q ح 6 9 つ প্ত 憲 ح 0 あ 下  $\mathcal{C}$ ブ 的 0 6 2 定 言 級 IV 階 各 τ B 早 U 治 對 種 逝 級 カ 何 的 立 は 0 b 等 圣 4 分 力 0 T な 形 及 2 る 邌 で જ る 0 *b*: あ 內 τ 0  $\mathcal{T}$ ح 夫 る 建 T は 0 行 2 ינלל N 法 0 2 る Œ 政 3 Ιþ 相 律 分 废 15 V 治 0 舊 否 業 及 7 ブ ÍŃ 來 な r 次 4 IV 0 9 0 あ Ÿ 力 ブ は 號 る B 公社七 3 7 存 \* " 17 的 在 火 V 祉 2 質 0 7 12 度 **%** 9 會 な τ 的 0 的 n 0) 如

ける 體あ  $\mathcal{C}$  $\boldsymbol{\mathcal{T}}$ 洪 Ξ 12 る 的 而 る る る 政 族 し 務 治 T Įζ 次 合 封 最 を 的 對 71 は 建 N 支 後 す 諸 ~ 獨 理! 配 71 る ヌ 立 す 對 大 フ 0) る I 8 抗 者 1 委  $\mathcal{U}$ 8 大 員 王 ゥ 15 ح 會 9 £ 0 17 72 111 Ø 0 過 È 0 3 "É 要 で 3 0 被 な あ 0 な 17 抑 出現 3 3 V \$ 基 0 階之 V 17 は 近 で 以 礎 C £ 7 級ド 代 あ 來 ح は、 V 自 n 國 彼 τ る 12 離 家 祭 T 分 は 體 相 ブ 權 は 的 E 71 现 力 N 女 政 £, は ジ 下 12 12 全 11 は 0 る 政 3 治 ブ゛ 7 租 滇 的 沙 稅 裝 1 的 \* 的 71 負 自 は  $\pm$ 擔 B 制 治 と す V 蓬 71 的 7 3 \$ 圆 9

六 儿 将 批 序

七 0 Elend 高 之 本 ----Ŀ O

II o

水二 Ξ 耳。

ŀĿ 1921. S. 27

17 71 V ולל τ n は 否 I. 0 Įζ 主 脹 す す る τ る 工. ン か ζ. グ b 可道 nil: 議 會 0 的 17 古 觀 押 典 念 L 的 0 2 定 質 H 義 现人 6 10 n 達 玔 12 す 性 る 0 力 0 で で 姿 は あ る。 及 な X S 現 间 n

3 ح ۶. して 7 9 9 第 3 4 0 ح 12 1 71 力 3 す B 72 す す 7 な 0 n で る る  $\mathcal{V}$ 12 72 係 B る。「能七四) な ļζ. ۲, | 五九九) 0 國 מל 7 な な 17 的 立 件 組 的 2 礼 利 9 z 奴 穊 \* 發 12 な 9 12 郜 從 更 必 蓬 沚 z > 8 去 5 民的 制 9. 要 0 會 防 4 有 す 農 15  $\mathcal{T}$ ષ્ટ が ---3 る 奴 ۲ 女 定 τ, る 力 n 72 72 な 0 τ 力 ح **%** *b*: r 秩 賃 办: 0 な 72 階 在 級 4 躞 V 體 5 15 7 會 の 25 矛 ど 的 75 濟 6 \$ נלל 埓 自 71 級 胩 制 V み あ 6 内 근 B V 0 國 る。」(註七三)「 τ 階 71 d) ^ 7 挑 級 家 ح で 抑 る ば、一從 収 n 0 及 ^ τ 制 女 τ 6 階 分 X 0 而 す 級 裂 來 國 נע べ \* 0 が 0 家 16 4 和 で 7 τ 盆 0 L 17 0 級 9 上 な る **%**: 生 C 15 Ŀ Įζ 鬪 12 で 方 產 立 就 位 3 は 沚: 邻 4 あ 少 法 71 家 必 V 永 會 0 3 נע 7 は  $\mathcal{C}$ 刦 Z. 0 5 ح 立 B b 的 9 必 的 何 0 上 5 17 る 生  $\boldsymbol{\mathcal{C}}$ 要 15 b Įζ 71 動 12 結 ሯ 0 か 6 立 滅 立

0 0 組 あ rļi, 成 紭 る z 。」〈誰七五〉 71 72 で 必 Ł, 易 买 V う ح 0 τ 12 で は、封 8 12 建 12 姒 12 办: 貴 家 然 族 げ は の意 の 配 圆 7 會 赇 家 n 现 で は 體 ある。 國 0 17 家 あ \$ 的 2 加 當 代 τ 5 は 追 全 で ブ 代 沚: あ 15 會 **b**. \*\* B r 3 代 表す τ 3 る 白 8 な てろ 捌 0 ح

تا- $\equiv$ Engels, Ursprung der Familie etc. Ss. 本、三 O. **J**L . Ĭ

七 Engels, Ursprung. S. 182. 瞬本三一 六 耳。

ĿĿ Ti. Engels, Entwicklung des Sozialismus.

F ス で 2 で II. Ė " は 17 ₹. 0 以 立 71 1 國 7. ス 國 0 17 12 家 £ 0 會 视 V 形態 な ح 9 て、礼 17 對 い」と。(註七六)「歴 國家とは、二つ 7 17 N 會の一 L τ. マ 1 Ł ス  $\mathbf{V}$ **の** 17 7 0 d. 歷 1 の異 处に V 史 ス・ア 存 C 的 12 B F. 現 國 す る V ラ る。(駐七七) 家  $\mathcal{T}$ જ 7 形 は 理! 0 態 は ilī 質 で 次 \* 民 は 3 見 0 的 ح な な る 0 祉 V 9 5 0 見 で 0 解 定 湛 は 15 る 7 7 る る

今日 る。 る Ø 的 21 1 建 حج 第二十三卷 71 そ 歷 存 判 ス・エ \cappa\_ 3 B n  $\mathbf{V}$ 史 は 國 家 ح 太 ح れは、多 V 9 的 て、古 はそ n ح C 多 ス で 3 は ح 17 る 邌 イ Z) ·V Ö る。 図 17 þ Ø 六 O ţ で ス れ、少 71 のそれ れ、少 は、將 あ 2 0 で ح /t τ 马今 9 文 あ つて、「一个 ₹, ~ ح 來 か なる形態 τ 鮲 n 市民的社會で國家 っ れ、資本 b Ħ 中 71 變形 故 ح 0 T 0 71 對 に、そ は 世 均 祉 で 異るも クス 礼: L 别 的 世 E it 會 會には て、ラ今 n 家 の差異に B 混 物 Ø あ 即 **%** は 的 ń で 合 示 國家』とい る 國 0 祉 밫 73 あ 多か 物 資 す **p**: FI 會 發展した近代 り、英國 で 12 本 D) ح ۲. で 0) ある。 ある も拘らずず n と國家 家 6 ۲ n 國家側 的 少 脫 ろ *p*; ふの な 本質的 17 カ<sup>ゝ</sup> 却 で V どが二つの Z n £, は一の 度してい Ŋ n で る 多 ح 市民的社 ~ は、ファ 特徴を共有 る 展 ያን C る。 4 L n 擬 な 7 とこと 共 n τ 3 制 同 **ታ**ነ 8 イ る で n 會 なるも る。 合 n 也 n ス ある。 る \$ Ø し ~ す は 田  $\boldsymbol{\mathcal{T}}$ 國 す 5 礎 0 來 る Ø 乍 獨 71 **3** 圣 8 C 15 併 £ 巡 ない Ø 立 持 諸 H であ 2 9 9 文 3 71 ح Ø  $\tau$ 7 驯 4 Z. ч

はたじ (批八〇) 分とが 二者は嚴密 ねる。 〈註七九〉 見解を最 へたとは考 市民 同 ح じも 的 71 て、彼 0 れない る 72 Œ の である。 V ح V 9 7 對立す ド ラ τ ያዩ である。 ね 得る V 秩 Ø > ならぬ。 る は「國家 0) 序と だ 不 一部である 要する ある。 ある。 9 支配 でな 乍 は 併、カ 秩 從つ V ~ ど 7 V ツキ 断片だと は、 も指摘する ば、全體と部 V ばならぬ いって つても、 正四 國家 ス

七六

·Ы. 七 Ś 34. u. 50.

Ŀ 八 Marx-Engels, Programm-Kritiken 1875 und 1891. (Elementarbücher 12.) Ss.

註 ·ti J٤ Adler, op. cit. S.

八 0 Kautsky. op. cit. Ss. 43 44.

## 金本位 普及とその戦後に於り 制度 の世界大戦前 る復興 に於け 3

金 原 之 助

0

近 第二十三卷 而 図 如 際 何 τ なる理由 CH KOBD 71 國 於 25 國際 け 71 依つ 命本位制度の世界大戦前に於ける普及さその職後に於ける復興 第十一號 C 通 は は種 る 17 商品 にもせよ、荷も 々の形に の輸出ス 於 15 世界經濟に参加 V 依り τ は資本 せ 0 る 國 出 人に 々の B  $\mathcal{C}$ 本 依